

分館長のおすすめ本



『世紀の落球』

澤宮 優/著 中央公論新社 2020年

野球というスポーツにおいて一つのエラーが試合を左右することも多くあり、当事者の選手はその後の人生に大きな影響を与えられて苦しめられることがあります。プロ野球選手として活躍したG.G.佐藤氏をはじめ、落球の出来事から立ち上がり、そこから這い上がろうとした3人の選手の姿が克明に描かれています。

世間の激しいバッシングに晒され傷つきながらも、現実を真正面から受け止めて生きる。途方もない困難、逆境に立ち向かう生き様を通して、新年度の始まりに背中を押してもらえるような一冊です。

休館日のお知らせ

4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

※○の付いている日が休館日です。 ※土日祝日は午後5時までの開館です。

《発行》所沢図書館所沢分館 所沢市元町 27 - 1 ☎04-2923-1243
 指定管理者：株式会社ヴィアックス

図書館だより No.116 (通巻)

とこぶん通信

2025

4・5

イベント掲示板

4月



映画会

こども映画会 10時30分～(10時15分開場)

4/13(日) 『ガリバー旅行記』

4/20(日) 『トンデモネズミ大活躍』

市民映画会 14時～(13時30分開場)

4/13(日) 『地上最大のショウ』

4/20(日) 『教祖誕生』



おはなし会

親子おはなし会

4/5(土) 4/19(土) 4/25(金)

5月



映画会

こども映画会 10時30分～(10時15分開場)

5/4(日) 『フィリックスの大冒険』

5/18(日) 『ピコリーノの冒険』

市民映画会 14時～(13時30分開場)

5/4(日) 『RONIN』

5/18(日) 『絵の中のぼくの村』

おはなし会

親子おはなし会

5/3(土) 5/17(土) 5/23(金)

※おはなし会はいずれも10時30分から開始

※映画会は当日先着順です。満員時は入場できません。



イベントレポート

「大人向け工作会 製本講座～豆本～」 開催しました！

2月8日(土)実施

昨年より始まった、大人向け工作会。今年はその仕組みを知って、図書館を身近に感じていただけるように製本講座を実施しました。

本格的なものではなく簡易的な製本になるため、メモ帳に使うのによい手のひらサイズの本、豆本を作っていただきました。15名の定員制でしたが全枠埋まり、大盛況でした。

和気藹々と雑談をしながらのイベントで楽しんでいただけたと思います。

今後も様々なイベントを開催する予定ですので是非ご参加ください。



とこぶんからのお知らせ

CHECK

マイナンバーカードによる貸出開始！

マイナンバーカードによる貸出が可能になりました(※)。

事前に利用券と連携の手続きが必要になります。

連携の手続きは、本館・所沢分館・新所沢分館のみで行っています。

※コンビニ及び小手指公民館での取次は対応していません。



所沢ゆかりの作家
丸山正樹先生
講演会開催決定！

日にち：5月21日(水)

場所：所沢分館1階

多目的会議室

詳細は館内ポスター・チラシにてお知らせいたします。



『裏世界ピクニック』

宮澤 伊織／著 早川書房

『裏世界ピクニック』

宮澤 伊織／著 早川書房 2017年

ネットで広まった怪異や都市伝説。それが世界の裏側、裏世界と呼ばれる場所では存在している。その裏世界で女子大生二人が出会い、それぞれの目的のために裏世界を探索しながら、だんだんと相棒になっていく、そんな物語です。

怪異や都市伝説も「くねくね」「八尺様」「きさらぎ駅」など有名どころが出てくるので、都市伝説や怪異・ホラーが好きな方にお勧めしたい一冊です。

アニメ化しているので、小説を読んでアニメを見て、二度楽しめる作品です。

押し本 とこぶんスタッフ選

『好きな食べ物がみつからない』

古賀及子／著 ポプラ社 2024年

「あなたの好きな食べ物はなんですか？」

日常での雑談やあるいは推しのインタビュー欄等でよく見かけるこの質問。簡単に答えられそうだが、なぜその食べ物が好きなのか。本当にそれが一番だと言い切れるか。そこに迷いはないか。この本は、「好きな食べ物は何ですか？」と聞かれた時にどう答えるのが、自分にとってベストかを、作者がひたすら考えて行動しては、更に迷ってつき詰めていくエッセイ。時に、おはぎ一個のために、新幹線にのり仙台へ。好きな食べ物はそこまでして見つけなければならないものだったっけ？…とツッコミつつも、好きな食べ物探しに徹底的に向き合う姿勢に感動を覚えてしまう。

作者からのラスト一文に、どう答えようか。



『好きな食べ物がみつからない』
古賀及子／著 ポプラ社